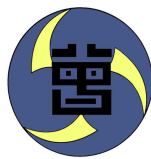


曾根小だより



発行：新潟市立曾根小学校

新潟市西蒲区曾根 750 (〒959-0422)

Tel.0256-88-3128 (代) Fax.0256-88-3129

E-mail:e803daikan@city-niigata.ed.jp

特別号 (学校評価のお知らせ)

HP <http://www.nishikawa-sone-e.city-niigata.ed.jp/>

令和7年度 学校教育ビジョン最終評価

日頃より当校の教育活動に御理解と御協力をいただきありがとうございます。保護者・地域の皆様の御協力により、令和7年度も無事終わることができました。

当校は、学校教育目標「ともに かがやく」のもと「やる気と笑顔にあふれる子どもを育てる」を重点目標に教育活動に取り組んでまいりました。令和7年度の教育活動を振り返り、学校評価の最終報告をお知らせいたします。

1 令和7年度の学校教育ビジョン評価報告 (後期)

	評価項目	達成率	評価
学ぶことに 関心をもち、 課題を 追 求める力の 育成(まなび PJ)	①授業で、分かったりできるようになったりして、学習することが「楽しい」と感じることがある。(児童アンケート= No.1 以下：児ア No.○)	86.2%	A
	②生活科や総合的な学習で、課題について調べたり、みんなで考えたり、まとめて発表したりして学習することは楽しい。(児ア No.3)	78.4%	B
	③生活科や総合的な学習で、地域のひと、もの、ことについて学習することは楽しい。(児ア No.2)	88.5%	A
	④授業中タブレット (iPad) を使って、必要なことを調べたり、自分の考えをまとめたり、友だちに考えを伝えたりして学習することができている。(児ア No.4)	90.4%	A
	⑤上記①～④についての方策・手立てに着手し取り組み、児童への必要な指導・支援を行っている。(職員評価の総合評価)	86.2%	A
互いを尊重し、 協力して活動する 力の育成(か かわりPJ)	①自分の学級では、みんなの話を大切に聞き合い協力して学習したり、助け合ったりしている。よりよい学級になるためにみんなで話し合い、めあてやきまりを決めて行動することで「学級がよくなってきている」と感じている。(児ア No.8,9)	85.2%	A
	②自分とは感じ方考え方がちがっていても、友だちのよいところを見つけ、助け合いながら生活している。(児ア No.19)	89.8%	A
	③なないる班の友だちとなかよく力を合わせて活動している。(児ア No.10)	90.4%	A
	④自分から「おはようございます」や「こんにちには」などのあいさつをしたり、「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えたりして。(児ア No.11)	89.2%	A
	⑤上記①～④についての方策・手立てに着手し取り組み、児童への必要な指導・支援を行っている。(職員評価の総合評価)	90.0%	A
	①自分が成長するために、学習や生活のめあてをもって、どんなことにも精一杯取り組んでいる。(児ア No.12)	88.0%	A

高い目標をもち、主体的に行動する力の育成(すこやかPJ)	②めあてに向かって、やるべきことを考えて、進んで取り組んでいる。 (児ア No.13)	83.7%	A
	③難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している。	84.3%	A
	④自分の健康について考え、テレビやゲーム、スマホやタブレットを使う時間に気をつけ、十分な睡眠を取るようになっている。体の成長や健康を考え、苦手でも少しずつ食べバランスのよい食事をするようになっている。どんなに遅くても夜 10 時 (1~3 年生は 9 時) までには寝るようになっている。(児ア No.14,15,17)	72.7%	B
	⑤上記①~④についての方策・手立てに着実に取り組み、児童への必要な指導・支援を行っている。(職員評価の総合評価)	82.2%	B
特別支援教育PJ	①曾根小スタンダード (UDLチェックリスト) に基づいて、どの子にも学びやすい学習環境を整備している。(職員アンケート) A=90%以上 B=80%以上 90%未満 C=Bに至らない	82.7%	B
	②「個別の教育支援計画」ならびに「個別の指導計画」の作成を通して、対象児童の教育的ニーズを詳細に把握し、適切な指導や必要な支援(合理的配慮)を行うことができている。(職員アンケート)	91.4%	A
	③自分とは感じ方や考え方がちがっていても、友だちのよいところを見つけ、助け合いながら生活している。(児ア No.19)	89.8%	A

※特別支援PJの①以外の評価基準は、達成率が80%以上=A、70%以上~80%未満=B、Bに至らない=C

2 分析及び後期へ向けて

まなびPJ	「分かった、できた、学びが楽しい」は、86.1%でA評価でした。全教職員が授業改善を意識し、日々の授業に取り組むことができた結果といえます。「総合学習等が楽しい」は肯定回答88.6%ですが「調べたり、まとめて発表したりすることが楽しい」は78.3%と低いです。体験活動だけでなく、まとめて発信するまでの学習の流れやゴールイメージを児童と共有し、生活科・総合を展開していく必要があります。「タブレットを使って調べたり、考えをまとめたり、伝えたりする」は90.4%でA評価でした。引き続きICTの有効活用を図るとともに、図書館の本・新聞など多様な情報活用能力の育成を図っていきます。
かかわりPJ	児童アンケートの縦割り班活動にかかわる評価は達成率90.4%でした。縦割り班行事や互いの良さを認め合う活動の効果が現れています。次年度も引き続き、互いの良さを認め合い、伝え合う異学年交流活動を進めていきます。学級に関する項目の達成率は85.2%とやや低かったです。教職員間で「学級力向上プロジェクト」への意識に温度差があり、実施できない学級がありました。次年度は、実施にあたっての職員負担を軽減するように工夫するとともに、やり方や効果に関する職員研修を進め実施するようにします。
すこやかPJ	「めあてを立て、それに向かって進んで取り組むこと」に関しては、児童アンケートの肯定評価がそれぞれ88.0%,83.7%でした。また、「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦」に関しては、肯定評価84.3%でした。全体的には高いですが、上の学年ほど低い傾向が見られます。次年度は挑戦する過程の評価や挑戦する態度への称賛を重視した取組を進めていきます。「メディアに接する時間のコントロール、睡眠、バランスのよい食事等」については、児童アンケートの肯定評価が72.7%と低いです。次年度は、メディアコントロールに関する講演会を実施するなど、家庭との連携を強化した取組をしていきます。
特別支援PJ	「ユニバーサルチェックシート」については、達成率は82.7%と前期よりも改善しました。次年度は、教員以外の職員にも研修機会を設け、共通理解を進め徹底していきます。基礎的環境整備と「個別の教育支援計画」等の活用に基づく合理的配慮の取組は前期に引き続き、着実に進められました。児童アンケート「多様性の理解と受容」に関する項目の肯定的評価は89.8%と高かったです。児童同士で相手の「よさ」を見つけたり、必要に応じて助け合ったりすることはできています。ただし、相手の短所やよくない点に目を向け、指摘することに起因する児童同士のトラブルはまだ発生しています。次年度に向けて、さらに取組を工夫していく必要があります。

R7 保護者アンケート [後期] 記述欄 ※◇ゴシック=回答(今後の方向等)

<p>学校生活全般</p>	<p>・いつも学校での活動を楽しそうに話してくれます。ありがとうございます。 ・家では出来ないことが、学校ではチャレンジして出来た！と喜んでることが多いので、今後も楽しく過ごせる場であることを願っています。 ・いつも丁寧に見てくださり感謝しています。ありがとうございます。 ・いつもきめ細かい配慮をしていただき、ありがとうございます。 ・いつもありがとうございます。子供たちが生き生きと何事にもチャレンジしていけるよう成長を願っています。 ・今後もよろしく願います。</p> <p>◇教職員の励みになる温かい言葉をいただき、たいへんありがとうございます。曾根小学校の子どもたちの健やかな成長のために、今後も教職員が一丸となり、教育活動に取り組んでまいります。ともに子どもを育てるパートナーとして、ご協力をよろしくお願いいたします。</p>
<p>学習指導 家庭学習</p>	<p>・クラスの授業中の態度についてです。自分の子も含めて授業態度が悪ければ、遠慮なく強く注意して下さい。先生が舐められてはいけないと思います。授業に集中していないせいか、家での宿題で「分からない」、「忘れた」など簡単に諦めた態度を取ります。ですので、授業中の態度については厳しく指導して頂きたいです。</p> <p>◇話を聞かない、ノートに書かない、私語が多い、手いたずらをして集中しないなど授業態度が良くない児童が一部に見られるのは事実です。そのことは、学習内容の理解度と関わっているケースが多くあります。引き続き、「分かる・できる」喜びと学ぶ意義を実感できる授業づくりを最優先に取り組んでまいります。</p> <p>他の児童の学習の妨げになると思われる場合は、多少強めの指導を行う場合はございます。しかし、強い口調で注意されるとふて腐れて、かえって行動を改めない頑なお子さんがいるため、担任も指導に苦慮しているところです。学習意欲を引き出し、持続できるような働き掛けを工夫してまいります。</p> <p>ご家庭でも学校で学ぶ意義や学習することの目的を繰り返し伝え、人の話を素直に聞くことなど、学習に取り組むための素地がつくられるようご協力をお願いいたします。また、日常的に、各教科のノートの書きぶりや家庭学習への取組から学習状況を把握し、家庭での学習が充実するようお願いいたします。</p>
<p>学校行事</p>	<p>・書き初めや灯籠作り(特に柱に貼り付ける作業、糊など必要な道具は持たせるので)は学校の授業内でできたら良い。</p> <p>◇これまでも様々な機会にお伝えしてきましたが、灯籠づくり(展示)は、曾根小学校の開設にご尽力いただいた校祖・新保正與先生に感謝の気持ちを伝えるために、「校祖祭」の行事の一つとして行われてきた伝統行事です。かつては、校祖会やPTAが中心となり、曾根神社・曾根天満宮に灯籠を飾ってきましたが、コロナ禍を契機に、従来のような大がかりな展示を行うことは難しくなってきました。そこで、地域の伝統を絶やさないために、学校が中心となり灯籠づくりの活動を行うことにしたのです。曾根小学校は、地域住民一人一人から支えられてきた、地域の大切な学校です。そのような経緯と活動の趣旨をご理解いただき、子どもたちだけでなく地域住民のお一人として、保護者・地域の皆様からも灯籠づくりの作業に関わっていただければと思っております。引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。</p> <p>書き初めは「校内書き初め大会」として、冬休み明けに学校で実施しておりますが、授業では練習量が十分でないため、冬休みの課題として実施しています。また、日本古来の伝統として、新年の1月2日に「書き初め」を行うのが習わしとなっています。伝統文化に親しむ観点からも、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>
<p>広報等について</p>	<p>・学校全体や学年別のお便りに載っている写真が白黒で、尚且つ画質が悪く活動している子供たちの表情や様子が分かりづらくいつも残念に思います。昔と違い生徒数も少ないのでカラー印刷も検討していただけると嬉しいです。</p> <p>◇ご意見ありがとうございます。発行部数の少ない学年・学級だよりについては、一部カラー版の配付は可能です。ただし、学校予算やプリンタのランニングコストの関係で、すべてをカラーで配付するのは難しいです。また、学校だより、PTAだより等は印刷部数が多いので、カラープリンタでの印刷は時間とコストの面で難しいです。ホームページや配信メールで、PDFデータ化したものをアップロードしますので、そちらをご覧ください。</p>
<p>その他</p>	<p>・体操服を改良して欲しい。半袖は、繰り返す洗濯に耐えられる素材にして欲しい。長ズボンも、足の紐を無くして欲しい。</p> <p>◇当校の体育着について、過去からこれまでに洗濯によって縮んだり、痛んだりしたというクレームはありません。中には、兄弟姉妹で10年以上使っている方もいらっしゃるよう</p>

です。ぜひ、洗濯ネットに入れるなど、工夫をお願いいたします。

長ズボン(トレーニングパンツ)のすその紐(足掛け)は、すそがまくれ上がってしまうのを防ぐためのものですが、現在は使用しないことが多いです。必要ない場合は、かかと側によけて着用したり、はずしたり(切り取る)してください。

体育着の改良(変更)は、業者選定やデザイン打合せなど、時間がかかります。ご要望が多ければ検討いたしますが、変更した場合、価格が上がってしまう可能性があることも御了承ください。

アンケートへのご協力、たいへんありがとうございました。

アンケートの集計結果等は、

曾根小学校のホームページにも掲載しております。あわせて御覧ください。

新潟市立曾根小学校ホームページ

<http://www.nisihikawa-sone-e.city-niigata.ed.jp/>

(文責 学校評価担当 佐藤 智範)